

# 科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語					学期	曜日	校時
英語名	German							
担当 教官名	濱崎 一敏	単位数	1 単位	必修 選択	必修	後期	火曜日	校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>ドイツ語文法を主とした授業である。文法説明、ネイティブスピーカー吹き込みによるカセットテープを用いた発音練習、それから練習問題にもとりくむ。辞書をひきこなせる力を目標とし、同時に日常会話の初歩を練習する。</p> <p>外国語の習得は、単に文法、語彙、構文を暗記する作業であるわけではない。文化的な諸事象、人々の振る舞い方、思考様式の違いに眼をむけ、これらを理解し尊重し相互理解の可能性を追求していくとともに、日本という国に住むわたくしたちの現実の在り方を問い返し、新たなよりよい次元にいたるため多くを学ぶことだと自覚していただきたいものです。</p> <p>学生 2-3 人のグループ分けをして自主的な研究をうながすなど、一方的、受動的な授業にならないように配慮する。時間の余裕をみて、ドイツの名作・ドキュメンタリー映画も上映する。内容ゆたかで楽しい授業！</p>								
テキスト、教材等								
火曜日 校時 L：前田 / 高木著『身につくドイツ文法』（2003 年、郁文堂）								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
L 1・2	定期試験、冬期休暇直前の中間試験、平素の学習態度（「遅刻」を含む）および毎校時行なう出欠調査などを総合して評価する。							
授業計画								
<p>前期で学んだ各品詞の形態と機能にかかわる知識を基礎として、主として文章構文の構造を学んでいく。発音練習も欠かさないようにする。</p> <p>順序は各クラスともほぼ以下のとおりである。</p> <p>(1)動詞の過去形と過去分詞の形態。(2)過去の人称変化。(3)完了形。完了の助動詞は二種類あり、過去分詞は文末におかれる。(4)zu 不定詞。英語の to-不定詞とおなじように考えればよいのだが、語順が逆転するから注意する。(5)受動態。過去分詞は文末である。(6)関係代名詞の構文。関係代名詞は 16 個あるが、理念、形態、用法において英語のようにむしろ複雑ではない。より論理的で把握しやすい。(7)接続法の ( ) および ( )。「接続法」は間接話法や非現実話法に用いられる。外交辞令的丁寧な表現にも使われるから、英文法の「仮定法」に当たります。</p>								